

晴読雨読

『医療情報収集のためのGoogle活用ガイド』

丸山康孝 著、村瀬澄夫 監修

東京 中山書店

2008年6月10日発行

21×15×1.2、192p 定価2,800円＋税



検索エンジンは、見たいウェブページを探すためのサービスである。

Googleは、ロボット型検索エンジンであり、ウェブページごとの全文を対象とし、同じウェブサイト内の異なるウェブページも検索結果に表示されてくる。そのため、探しものをする図書館員にもGoogleはよく利用されていると思う。そのトップページはとてもシンプルで、使い方も簡単だ。とにかく何か検索キーワードを入力して、EnterキーかGoogle検索のボタンをクリックすれば何かしらの結果が表示される。しかし、的確な検索キーワードを入力しないと、膨大な検索結果の森に迷い込んでしまうことがしばしばある。そんな時には、本書を読むとよい。

検索対象からはずしたいキーワードがある場合は、そのキーワードの前に「-」を付ければよい(NOT検索)。画像やイラストを探したい場合は、画像検索をすればよい。複数のキーワードをひとつの固まりとして検索したい場合は、その複数キーワードを「" "」(ダブルクォーテーション)でくればよいなど、基本的な検索技が本書にはわかりやすく書かれている。また医療関係者ならではの技まで実例に沿って解説されている。すでに知っている人にとってはたいしたことではないのかもしれないが、知らなくて困っていた人にとっては目からウロコが落ちるような情報である。

なお、Googleでできることは検索だけではない。大容量のFreeMailやブログの作成、Microsoft社のofficeツールに似たソフトなどが無料で利用できることも、本書では紹介されている。従来は自身のPCに文書やメールを保存していたが、Googleを使えばウェブ上に保存しておくことができる。つまり、インターネット環境さえあれば、どのパソコンからでも自身の作業スペースにアクセスできるということだ。

日々進化と変化を続けるインターネットの世界を知るためにも、ぜひ一度ご覧になってはいかがだろうか。

(三菱京都病院図書室／井上智奈美)